

電気通信サービスにおける情報信憑性検証技術に関する研究開発

ネットワーク上に流通する玉石混淆な情報を分析・提示することにより、情報利用者が個々の判断基準で、Webコンテンツを容易に利活用可能となる技術を開発

- データ解析的アプローチによるWebコンテンツを構成するテキスト、画像、音声、映像情報の分析技術
- 自然言語処理による深い解析による情報相互の論理的関係性、時間的変遷の分析技術

研究開発期間：平成19年度～平成22年度（4年間）

予算：総額248百万円程度（上限、平成19年度）

内訳 課題ア 120百万円程度

課題イ 128百万円程度

注）本テーマは課題毎に公募実施

ネットワーク上の玉石混淆な情報

Webコンテンツを構成する
テキスト、画像、音声、映像情報

データ解析的アプローチによる、テキスト、画像、音声、映像情報の分析

課題ア Webコンテンツの分析技術

- ・画像・音声・映像情報とそれを説明するテキストの不整合度を検証するクロスメディア分析技術
- ・テキストの表層的特徴（文体、語彙等）や発信者の発信履歴等の分析技術

テキスト情報の意味内容解析を含む自然言語処理による深い解析

知識ベース

時間的変遷分析

情報利用者がWebコンテンツの信憑性を判断する上での手がかりとなる情報を提供

課題イ 意味内容の時系列分析技術

- ・インターネット上から利用者が着目する領域・観点に関する意見を抽出、意見間の論理的関係を分析する技術
- ・意見の時間的変遷等进行分析する技術

